

## ◆ 世界における海賊等事案の動向

国際商業会議所（ＩＣＣ）の国際海事局（ＩＭＢ）が１月１６日に発表した年次報告書（速報）によると、２００８年に世界で発生した海賊等事案の件数は２９３件（２００７年は２６３件）で、２００３年から２００６年まで減少傾向にありましたが、一昨年から増加に転じ、前年に対して１１％（３０件）増となっています。

海域別の件数としては、アデン湾９２件（同１３件）にナイジェリア４０件（同４２件）とインドネシア２８件（同４３件）が続いていて、この３海域だけで世界全体の５割を超えています。このほか、ソマリア１９件（同３１件）、タンザニア１４件（同１１件）、バングラディッシュ１２件（同１５件）、ベトナム１１件（同５件）、インド１０件（同１１件）、マレーシア１０件（同９件）、マラッカ・シンガポール海峡８件（同１０件）となっています。

２００８年は一昨年と同様にアフリカ海域の増加が著しく１８９件（同１２０件）と世界全体の６５％を占めており、特にアデン湾内の被害件数は前年に比べ約７倍と急増しています。ソマリア周辺海域（アデン湾及びソマリア東岸海域）の件数は１１１件（同４４件）であり、被害の特徴はハイジャックを目的とした航行中の船舶への襲撃が多く、沿岸から遠く離れた海域でも発生していることです。また、ハイジャックによって多くの乗組員が拘束されていることも特徴として挙げられます。

## ※ハイジャック数

全世界：４９隻  
ソマリア周辺海域：４２隻  
（世界全体の約９割）  
昨年末現在：１３隻拘束中

## ※人質となった乗組員数

全世界：８８９人  
ソマリア周辺海域：８１５人  
（世界全体の約９割）  
昨年末現在：２４２人拘束中

また、近年世界全体の４～５割以上を占めていた東南アジア海域は５４件（同７０件）で２００３年から減少が継続しています。

注）国際海事局（ＩＭＢ）は、国際貿易等に関する取引慣習の統一化等を行う民間団体である国際商業会議所（ＩＣＣ）の専門部局であり、海賊など海事関係の犯罪に対する防止対策等について、独自に情報を収集し、その分析等を通じて、広く海事関係者に助言を行っている機関です。